

# 令和3年度 棚倉町立高野幼稚園・高野小学校 幼小一貫教育推進経営・運営ビジョン

「高野幼稚園との連携」  
◎遊びでつながる  
・砂遊び  
・「育ってほしい10の姿」の共通理解

「棚倉中学校」との連携  
◎児童の「夢」連携  
・キャリアパスポートの引き継ぎ  
・6年生の中学校訪問

教育目標  
よく考える子（知） 思いやりのある子（徳） 元気な子（体）  
令和3年度重点事項  
「自己マネジメント力の育成」  
○キャリア能力の育成  
○自己肯定感の育成  
○幼小一貫教育の推進

自己マネジメント力  
「自己の学習や生活のあり方を自律的に改善する力」  
☆よりよく生きる  
☆なりたい自分  
☆RVPDCAサイクル

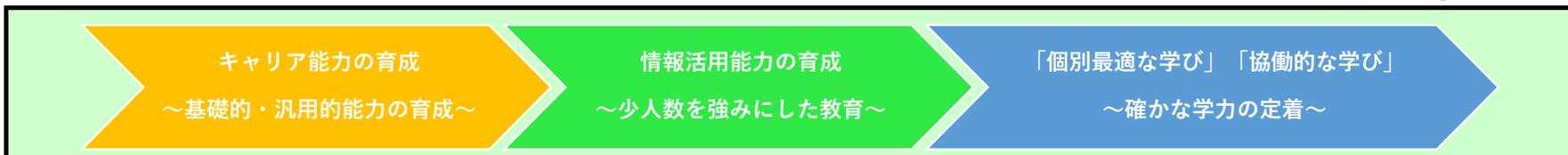
高野子どもルール5  
1 あいさつをしよう  
2 はっきりと返事をしよう  
3 ありがとうを言おう  
4 時間を守ろう  
5 はきものをそろえよう

教育目標との関連：幼稚園  
【よく考える子：話を聞き、自分で考えて決めることができる子ども】 【思いやりのある子：友達と助け合い、優しい気持ちで生活する子ども】 【元気な子：進んで体を動かし、心も体も元気な子ども】  
1 キャリア能力の育成を意識した保育活動 1 豊かな体験活動の充実 1 進んで体を動かせる環境づくり、遊び場の工夫  
2 自分の力を発揮し、新しいことにも挑戦する態度の育成 2 友達の気持ちを受け止め、助け合う心と態度の育成 2 基本的な生活習慣の確立

教育目標との関連：小学校  
【よく考える子：自ら考え主体的に学ぶ子ども】 【思いやりのある子：相手の気持ちを考え行動できる子ども】 【元気な子：自分の目標に向かって頑張りぬく子ども】  
1 高野小だからこそできるキャリア教育→ICTの活用 1 安心して学べる学級・学校づくり→自己肯定感の育成 1 健康教育・食育指導の充実→自分手帳の活用  
2 児童が主体的に活動できる場の設定→地域との協働 2 家庭との連携→「ほめポイント」の共通理解 2 安全教育・防災教育の推進→震災の記憶の継承



一人一人がよりよく生きるために、そして「生き抜く力」へ



☆ICTの活用を通して、子どもたちに育みたい資質・能力☆  
○情報と情報技術を適切に活用するために必要な理解と技能 ○複数の情報を結びつけて新たな意味を見だし、問題を解決する活用力  
○情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度  
☆ICTの積極的な活用の2つの柱☆⇒自己マネジメント力を育てるためのICT活用  
①少人数を強みとして、タブレットの文房具化 ②少人数の弱みを強みに変える「オンライン交流」



アプローチⅠ  
【キャリアの力を発揮する場の設定】  
○ キャリアパスポートの活用  
○ かしこく楽しいプロジェクト

アプローチⅡ  
【家庭・地域との連携】  
○ 地域人材と地域資源の活用  
○ 学校運営協議会との連携

アプローチⅢ  
【体験活動の充実】  
○ 外部人材の活用  
○ 「生活科」「総合的な学習の時間」

アプローチⅣ  
【ICTを用いた授業改善】  
○ 発達段階に応じた活用  
○ タブレットを用いた可視化

アプローチⅤ  
【縦割り班活動の充実】  
○ なかよし班活動  
○ 子どもまつり

カリキュラムマネジメント・地域との協働・働き方改革～教科を「つなぐ」、人を「つなぐ」、時間を「つなぐ」、地域と学校を「つなぐ」、ICTで「つなぐ」

- ・「月案」でPDCAサイクルを回す→校内の研修体制の改革、あるものを生かすことでの校務のスリム化
- ・教科横断的な視点でのカリキュラム・マネジメント→効率化と学びの「ワクワク」
- ・ICT活用で生み出す「時間」→オンライン交流、「働き方改革」につながる校務のICT化、学習の個別化
- ・地域と共にある学校→ボランティアや外部講師として共に学びを創る、地域資源を学習につなぐ

